

在宅医療・介護連携に関するアンケートのお願い

資料3

このアンケートは、医療と介護の両方を必要とする高齢者が希望する場所で日常生活が過ごせることを目的に現状を把握するため、清須市近郊医療機関で市民が多く受診している医療機関へ送付しています。アンケート結果は今後清須市地域包括ケア推進委員会在宅医療介護連携推進部会での資料とさせていただきます。

1-1. 入退院時に外部との連携でスムーズに行かず困ったことはありますか。

- ①現在、特に困っていない
- ②在宅時の連携先がわからない
- ③その他

()

1-2. 清須市の高齢者患者の入退院時支援で地域との連携において困った事例があればご記入ください。また、外部との連携でスムーズにできなかったこと、そしてスムーズに行うために良い情報や連携があればご意見をください。

入院時

退院時

2. 患者を入退院させる際に地域のさまざまな職種や機関との連携が必要になります。在宅医療介護連携についてご意見があればお聞かせください。

3. 地域包括ケアシステム構築するために清須市では地域包括ケアシステム推進委員会を開催して市民や多職種の方から意見をいただきます。在宅医療介護連携を推進するために、顔の見える関係も大切になってくると思いますが、この会議への参加は可能でしょうか。

- ①参加可能である
- ②困難である
- ③その他

()

● **名古屋医療圏の医療機関様のみ**お答えください。

ICTの利用について

尾張中部地域（清須市・北名古屋市・豊山町）は平成30年に医療圏として名古屋医療圏と合併していますが、電子@連絡帳サービスに関しまして、名古屋医療圏が利用している“はち丸ネットワーク”ではなく“レインボーネット”を利用しています。これらのシステムは運営会社が異なるため、情報の連携ができません。そこで、今後のスムーズな連携を図るために、貴医療機関として電子@連絡帳（レインボーネット）へご登録いただくことは可能でしょうか。

①登録は可能

②検討することが必要

③登録はできない



理由

()

※（株）I I Jが提供する電子@連絡帳サービスは現在、愛知県内54市町村のうち46市町村で利用されています。また35市町村が愛知県広域連携により、システム同士で情報連携が可能となっています。いずれかのシステムに登録すれば、他市町村のシステム利用者と情報共有が可能となります。

ご協力、ありがとうございました。

11月 日までにご返信を願います。

お知らせ

尾張中部地域で『入院時情報連携シート』（別紙）を作成しており、まずは尾張中部地域内で活用しながら微修正を加え、今後市外の医療機関への利用を検討していきます。